

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

| | | | |
|--------------------|---|--------|----------|
| 所属 | 経営学部 | 国際経営学科 | 学科 専攻 |
| 派遣先大学 (国) | ヴロツワフ経済・経営大学 (ポーランド) | | |
| 所属プログラム・ 学部・研究科 | ERASMUS+ Student Exchange Programme / Faculty of Management, Information Systems and Finance | | |
| 報告書提出日 | 2019年10月25日 | | |
| 留学予定期間 | 2019年9月～2020年2月 | | |

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 400 (PLN) /合計

航空券代： 97500 (円) /合計

ビザ申請関連費： 0 (円) /合計

その他 (): () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 20 (万円) /合計

6月初旬：オンラインで現地大学へのアプリケーションをしました。Application form, Learning Agreement, 神奈川大学の英文成績表、パスポートをPDF化してアップロードする必要があります。

7月半ば：寮の抽選結果発表、航空券予約（現地での滞在先が決定したため、ようやく保険の申し込みが可能となりました。）

7月下旬：VISA申請のために大使館にオンライン予約

8月下旬：VISA申請（必要書類については大使館ホームページに記載がありました。面接はありません。）

9月初旬：VISA発給

◇気付き

・寮の抽選結果の発表が出発の二か月前とかなり遅く、それに伴い保険証券の発行（現地滞在住所の記載が必要）、VISAの申請（保険証券が必要）もギリギリになってしまうため、一つステップが進んだらすぐに次の段階に取り組むことが必要だと感じました。

・神奈川大学からポーランドへの派遣は初めてであったうえに、インターネット上にもポーランドや派遣先大学の情報はかなり少ないため、持ち物の準備やVISA申請のシステムに戸惑うことも多くありました。

1.2. 渡航について

行きは東京から出発し、北京とワルシャワで二度の乗り換えを経て大学から最も近い空港であるヴロツワフ・コペルニクス空港まで到着しました。（トランジット含め約 22 時間）

現地からの迎いの申し出は特になかったため、空港からは UBER（スマートフォンのタクシー配車アプリ）を使用し、自力で直接現地へと向かいました。（約 25 分）

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

・渡航前

インターネット上での現地大学の入学手続きの際に、大学寮への入寮意志の有無を問われ、大学側から審査が行われる。審査結果が伝えられたのは 7 月半ばでした。

その後、9 月に入ってから寮への予想到着日時についてメールする必要がありましたが、デポジットなどを事前に払う必要はありません。

・到着日

受付でパスポートを見せ本人確認をしたあと、鍵を渡されました。部屋の選択は基本的に不可。この日は特別な手続きはしませんでした。

・到着後

到着から 2 日後、寮内のオフィスにて書類に連絡先などを記入し、登録をします。在寮カードのための証明写真が必要です。支払いもこの際に済ませました。一か月分の家賃（520PLN）と、デポジット（400PLN クレジット決済のみ可）を支払いました。次月以降もオフィスで支払いをします。

◇気付き

・寮は二つの棟に分かれています。それぞれ設備（私の滞在している部屋側の棟のみフリー Wi-Fi、エレベーターが使用できる）と家賃が異なりますが、選択は不可です。

・受付にはスタッフが常駐していますが、英語の話せないスタッフがほとんどなので、身振り手振りでコミュニケーションをとっています。

・洗濯は、各棟で共有。受付で 3PLN（クレジット決済のみ可）を支払い、在寮カードを預けると引き換えに洗濯ルームのカギと、洗濯機を動かすために必要なコインを受け取る。長時間鍵を返却しないとペナルティがあるらしいのですが、詳しい説明を受けていないため詳細が分からず、毎回怯えながら洗濯をしています。

・キッチンには IH コンロ、冷凍機能付きの冷蔵庫、シンクがあるのみ。調理器具どころか電子レンジや電気ケトルも備えられていないため、自炊は可能ですが不便です。

・部屋は基本同室に 2 人。シャワー、トイレ、キッチン付きのワンルーム。

・一階に共有ラウンジがあり、深夜まで開放されているため、勉強などに利用しています。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

入寮の手続きを済ませた際に、オフィスで居留許可に必要な書類を渡され、その場で記入し、オフィスのスタッフに確認してもらいました。

数日後に市民センター（寮から徒歩約 30 分）へ行き、手続きを済ませました。手続きにかかった時間は約 20 分。市民センター内のインフォメーションカウンターにて手順を丁寧に教えてくれたため、スムーズに手続きを完了させることができました。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

◇大学主催のオリエンテーション

9 月 24 日：インターナショナルオフィスの職員の紹介や、履修登録の流れについての説明があった。また、この日に学生証を受け取った。（17PLN）

9 月 25 日：観光ガイドによる、留学生を対象にしたヴロツワフのシティツアー。

9 月 26 日：ESN（現地学生で構成されている留学生を対象にしたイベントの企画・責任団体）の幹部挨拶、イベントスケジュールの紹介。

◇ESN 主催オリエンテーションウィーク

・9 月 24 日から 30 日まで、BBQ や、ボーリング大会などのイベントが開催された。（100PLN を支払えば参加自由。）

◇履修登録

◇授業開始

留学生対象授業：授業によって開始日は異なるが、基本的に 10 月の第一週、または第二週から始まる。

◇バディ制度

7 月末に送られてくるメールに従いバディ制度に登録すると、自分の担当の現地学生と個人的に連絡を取り合うことが可能になる。しかしこの制度はほとんど名目のみであるように思える。自分のバディに一度も対面していないという留学生も多い。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

TOEIC スピーキングテストで 160 点（渡航前 120 点）を目指し、毎日英語で会話する機会を作る。また、自宅ではインターネットで英会話についての動画を観たり、ポキャブラリーを増やすために単語練習をしたりと、一人でいる時間でもできるだけ英語に触れる。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

日本にいた時よりは圧倒的に英語に触れる時間が増え、目標であった毎日英語を話す機会を作ることが概ね達成できていると感じます。またその甲斐あってか、リスニング・スピーキングスキルは渡航前より成長したと感じます。しかし授業では専門的な用語ばかりになると授業についていけなくなってしまうことがあるため、さらにポキャブラリーを増やし授業の 10 割を完璧に理解できるリスニング能力を身に着けたいです。

3.3. 今月の学習・研修目標

ほとんどの授業でグループディスカッションの時間があり、英語が得意な学生同士の会話に追いつき自分のアイデアを英語で伝えることがうまくできず、悔しい思いをすることがしばしばあります。

普段のリスニング、スピーキングの勉強に加え、単語帳などを利用し専攻しているビジネスに関する英語のボキャブラリーを増やし、授業後にわからなかった言葉について調べるなど復習を怠らず、グループに貢献する努力をします。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

| 現在の学期 | 前学期 |
|-------|---|
| 月 | |
| 火 | 9 : 45～11 : 15 Visual Merchandising 11 : 30～14 : 45 Place Marketing 15 : 00～16 : 30 Economics of International Trade(12月開始) |
| 水 | 11 : 30～13 : 00 Economics of International Trade(12月開始) |
| 木 | 11 : 30～13 : 00 Polish Language 13 : 45～15 : 00 Strategic Leadership |
| 金 | 11 : 30～14 : 45 Consumer Behavior |
| 土 | |
| 日 | |

4.2. 授業について

◇Visual Merchandising

内容：品物を早く、沢山売る方法について。特に視覚的にどのように工夫するべきかについて。

特徴：留学生用の授業で、15人ほどの学生が受講している。教授はゆっくりと話すため、授業は8割ほど理解できるが、専門的な用語も多いためときどき理解できないことがある。また、授業は座学形式だが、発言する学生は加点される方式のため、積極的に発言する学生が多く毎回焦りを感じる。復習をしっかりと授業に積極的に参加できるようになりたい。

評価方法：期末試験、グループワーク（プレゼンテーション、レポート）

アドバイス：経営学について基礎知識があると理解しやすい。

◇Place Marketing

内容：地域の経済発展を促す要因について

特徴：留学生用の授業で、30人ほどの学生が受講している。教授はゆっくりと話すため、授業は8割ほど理解できる。また、授業は座学形式だが、教授から日本の経済について質問されることもしばしばあり、自国についての無知を痛感する。この授業を通し、日本についての理解も深めていきたい。

評価方法：プレゼンテーション

アドバイス：日本の地域発展について知識があると積極的に授業に参加できる。

◇Polish Language

内容：ポーランド語の基礎的な会話について

特徴：留学生向けの授業で、ポーランド語を一から学びたい学生20人ほどが受講している。とても簡単な会話練習からゆっくりと進むので、授業についていくことができる。復習を欠かさず、できるだけ多くのポーランド語を習得したい。

評価方法：期末テスト

アドバイス：ポーランド語についての知識が全くない人、一からポーランド語を学びたい人向けです。

◇Strategic Leadership

内容：企業でリーダーシップを発揮するために必要な要素、リーダーシップのメカニズムについて

特徴：留学生向けの授業。15人ほどの学生が受講している。心理テストやグループワークなどを使うのでリーダーシップについて理解が深まった。個人作業やグループワークの間は教授が巡回しているので、質問がしやすい雰囲気。

評価方法：期末テスト

アドバイス：専門的な知識は特に必要ありません。

◇Consumer Behavior

内容：顧客の種類、またどのような顧客にどのようなニーズがあるかについて

特徴：現地学部生向けに英語で開講されている授業。現地学生と留学生の割合はおよそ3：1で、30人ほどの学生が受講している。座学中心のレクチャーと、グループプロジェクトを進めるチュートリアルで半分ずつ時間が区切られている。

評価方法：期末テスト、グループプロジェクト（プレゼンテーション）

アドバイス：経営に関する基礎知識があると理解が深まります。

4.3. 予習・復習・自習について

◇Visual Merchandising

毎週宿題が出る。興味がある内容なので、自主的にインターネットで関連事項について調べるなどして知識を深めている。

◇Place Marketing

期末に25分間の個人プレゼンテーションがあるため、それに向けてパワーポイントを用意したり、研究を進めている。

◇Polish Language

配られたレジュメを使い会話の練習をしている。また、買い物や食事に出かけた際に習ったことを実践するように心がけている。

◇Strategic Leadership

授業で教授が使用したスライドがe-mailで送られてくるので、見返してわからなかった語彙の意味などを確認している。

◇Consumer Behavior

毎週グループごとにタスクが課されるため、放課後集まり取り組んでいる。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

| | |
|----|------------|
| 住居 | 学内寮（その他： ） |
|----|------------|

・9月末の渡航だったため、半そでの衣服を持っていくか迷っていたが、実際には10月のはじめにはダウンコートが必要なほど気温が下がるため、後期派遣の場合は、夏用衣類は不必要。

・携帯電話：私のスマートフォンはSIMフリーであったため、現地で格安SIMカードを購入した。（5LN）継続して使うためには、毎月トップアップする必要がある。（一か月30PLN）

・空気の乾燥がひどいため、就寝の際にはマスクを着用している。冬場に向け加湿器の購入も検討して

いる。

・町の治安は良く、スリ・盗難などの事件も耳にしないが、ショルダーバッグを上着の下に着用する、夜間には一人で出歩かない、など警戒は欠かしていない。

5.2. 課外活動について

放課後はほかの国から来ている留学生と一緒に食事をしたり、頻繁に行われる ESN 主催のイベント(カラオケパーティ、シティツアー)に参加したりしています。

また、Facebook の Langage exchange community を利用して、日本文化や日本語に興味を持っているポーランド人やヴロツワフ在住のアジア出身の方々と交流したり、派遣先大学の日本語の授業にボランティアとして参加し、日本語を学ぶ学生と交流しています。

5.3. 現在までの感想

私にとって、今回の留学が初めてのヨーロッパ渡航だったので、日本とはもちろん、以前留学していたマレーシアやほかのアジアの国とは全く異なる環境にはじめは戸惑うことが多くありました。

一番に挙げられるのが交友関係についてです。オリエンテーション期間はさまざまなイベントがあり、他の国から来た留学生と交流する機会が多くあったのですが、他の国からの学生たちは私と違い、外国人の友達を作ることや、語学力の向上を目指していない人が多くいるように見えました。「同じ国籍同士の学生で、母国語で盛り上がっていて、明らかに外国人(特に日本人)には全く興味がない人たち」最初に私はヨーロッパの人々にそのようなイメージを持ってしまい、新しい友達をつくることのできるのか不安に思いましたし、その輪に入り話しかけるのにはすごく勇気がいりました。しかし思い切って話しかけると笑顔で会話に応じてくれたり、日本に興味を持ってくれる人が多く、今では授業後一緒に食事をしたり、休日遊びに誘ってくれる友人ができました。そして、初対面の学生に自分から話しかけ、交友関係を広げることに徐々に慣れてきました。ポーランドにきて最初に感じた自身の成長です。ポーランドの文化についても毎日驚きと発見の連続です。例えば、ポーランドにはカトリック教徒が多い関係で、日曜日の商店の営業が法律で禁止されているため、日曜は買い物できません。寮のレセプションのスタッフはポーランド語しか話さず、英語を話す気も全くないため、コミュニケーションをとるのがとても困難です。これらの日本ではありえない状況は、戸惑うどころか新鮮で、楽しさすら感じます。このどんな状況でも楽しめるというところは、ポーランドに来て気づいた私の長所です。

学修面に関しては、大きな課題が二つあげられます。一つ目に、英語能力の未熟さについてです。特に、グループワークなどで話し合いについていけなかったり、意見がうまく言えなかったりすることも少なくなく、グループに貢献できないことにとても歯がゆさを感じます。自習時間をさらに増やし英語能力の向上を目指すとともに、自分なりに貢献できる方法を見つけていきたいと思えます。二つ目に、自国についての無知についてです。ほとんどの授業をアジア人一人で受けているということもあり、先生方からしばしば「日本はどうか?」と経営や経済について授業中に質問されることがあるのですが、英語能力以前に日本についての私自身の知識不足でうまく答えられないことがあり悔しさを感じます。学んでいることに関して、「日本はどうか?」を常に考え、すぐに調べる癖をつける努力をしようと思えます。

この他にも、渡航して一か月で様々な成長や課題が見えてきました。残りの約四か月で沢山の課題を成長にして帰国できるように一日一日充実した日々を過ごしたいと考えます。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（12月）

| | | | |
|--------------------|--|--------|----------|
| 所属 | 経営学部 | 国際経営学科 | 学科 専攻 |
| 派遣先大学 (国) | ヴロツワフ経済・経営大学 (ポーランド) | | |
| 所属プログラム・ 学部・研究科 | Faculty of Management, Information Systems and Finance | | |
| 報告書提出日 | 2019年 12月 10日 | | |

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

TOEIC スピーキングテストで 160 点（渡航前 120 点）を目指し、毎日英語で会話する機会を作る。また、自宅ではインターネットで英会話についての動画を観たり、ボキャブラリーを増やすために単語練習をしたりと、一人である時間でもできるだけ英語に触れる。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

課題が忙しい日々が続き、自宅にこもって課題をしている日も多くあった。また、映画や海外ドラマを観る際も、日常会話で使えるようなフレーズやわからない単語を書き出しながら観るなど、自分なりに楽しく勉強を続ける方法を見つけることができた。今後は、TOEIC 用の単語帳を使った学習など、より語学試験を意識した勉強を進めていきたいと考える。

1.3. 今月の学習・研修目標

TOEIC 用の単語帳に毎日触れる。覚えた単語を日常生活で実践するよう心掛ける。

2. 学修について

2.1. 授業について

◇Visual Merchandising

内容：品物を早く、沢山売る方法について。特に視覚的にどのように工夫するべきかについて。

特徴：留学生用の授業で、15人ほどの学生が受講している。専門用語にも慣れてきたため、内容はほとんど理解することができる。

◇Place Marketing

内容：地域の経済発展を促す要因について

特徴：留学生用の授業で、30人ほどの学生が受講している。前半の二か月間は、座学形式の授業だったが、後半は学生によるプレゼンテーションで授業が進む。様々な国の学生が、自国の観光業についてプレゼンテーションを行うので、興味深い内容である。

◇Polish Language

内容：ポーランド語の基礎的な会話について

特徴：留学生向けの授業で、ポーランド語を一から学びたい学生 20 人ほどが受講している。内容は簡単な日常会話から、本格的な文法の語法になったので、理解度は7割で、授業についていくのがやっとなので、復習が欠かせない。

◇Strategic Readership

内容：企業でリーダーシップを発揮するために必要な要素、リーダーシップのメカニズムについて

特徴：留学生向けの授業。15 人ほどの学生が受講している。後半の授業は、あらかじめ与えられたケーススタディに基づいてグループでストラテジックリーダーシップについて話し合いをするので、理解を深めるためには、予習が欠かせない。

◇Consumer Behavior

内容：顧客の種類、またどのような顧客にどのようなニーズがあるかについて

特徴：現地学部生向けに英語で開講されている授業。現地学生と留学生の割合はおおよそ3：1で、30人ほどの学生が受講している。座学中心のレクチャーと、グループプロジェクトを進めるチュートリアルで半分ずつ時間が区切られている。

◇International trade of economics

内容：外貨を使った商売をする際の、為替などの仕組みについて

特徴：現地学部生向けに開講されている授業で、12月から開始された。現地学生がほとんどである。授業の理解度は8割ほどである。授業は二コマあり、外貨や為替の仕組みについてのレクチャーと、レクチャーで習ったことを当てはめて実践的な計算をするチュートリアルに分かれている

評価方法：期末テスト

アドバイス：外貨の仕組みに興味がある人におすすめです。

2.2. 予習・復習・自習について

◇Visual Merchandising

あらかじめ配布されているレジュメを利用し、予習復習に取り組んでいる。

◇Place Marketing

25分間の個人プレゼンテーションを終えたため、今後はほかの留学生のプレゼンテーションを聞き、気になった事項については自分で調べるように心がけたい。

◇Polish Language

簡単な会話だけでなく、文法などのより難しい内容になったため、わからないことは積極的にポーランド人の友人に聞くようにしている。

◇Strategic Readership

予習として、あらかじめ e-mail で送られてくるケーススタディを読んでいる。

◇Consumer Behavior

毎週グループごとにタスクが課されるため、放課後集まり取り組んでいる。

2.3. 語学力について

二か月前に比べて、授業で先生が言っていることを理解出来ない回数は圧倒的に減ったので、リスニング能力は向上していると言える。また、スピーキングに関しては、簡単な会話は難なくこなせるようになった。また、授業中に日本の経済などについて質問された際も、答えられる回数が増えてきたと言える。

しかし、複雑な事案について自分の言いたいことを完全に伝えることがまだ困難であるため、これからも上記の今月目標欄に基づいた学習を続けていきたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

| 住居 | 学内寮（その他： ） |
|--|------------|
| <p>衣：最近は気温が下がり、最低気温が氷点下を記録する日もあるので、長袖・長ズボンに加え、ヒートテックやダウンコートなど、本格的な冬の装いが必要である。</p> <p>食：アジアマーケットがあり、日本の調味料をそろえて自炊することができる。また、さまざまなポーランド料理に挑戦している。</p> <p>住：最近は空気がとても乾燥しているので、対策グッズが必須である。寮の部屋にはオイルヒーターがあり、夜も寒くない。</p> | |

3.2. 課外活動について

| |
|--|
| <p>月に一回現地の日本語の授業に参加しているので、そこでできた友達や、他の国からの留学生と遊んだり、食事をしたりしている。</p> <p>先月末から今月のはじめにかけてスウェーデンに旅行に行き、ポーランドとは、また違うヨーロッパの文化や人種に触れることができとても良い経験となった。</p> |
|--|

3.3. 現在までの感想

| |
|---|
| <p>授業面では、リスニング能力が向上したおかげで教授の言っていることもほとんど理解できるようになり、履修教科自体も興味のある科目であったり、日本では学ぶことのできないようなヨーロッパやポーランド視点での授業が多いため、毎回授業に参加するのが楽しく、意義のあるものになっていると感じます。帰国後はこちらで得た知識をゼミナール活動でほかの学生と積極的に共有したり、授業でも活かせるようにこれからも毎回の授業でできるだけ多くのことを学んで自分のものにしていきたいです。また、先日課題としてクラス内で一人 25 分間のプレゼンテーションをする機会があり、準備はとても大変でしたが、当日はその頑張りが評価され、最終的にその日のプレゼンターで唯一の満点をもらうことができました。留学上半期の成果だと感じています。</p> <p>英語面でも、二か月前に比べて積極的にグループワークに参加して、自分の意見が採用されることも多くなり、スピーキング能力の向上、こちらの授業への慣れを感じます。しかし、上記項目の通り、簡単な単語を並べて会話などはできるものの、少し難しい事柄を伝える際はまだ言いたいことの 10 割すべてを相手に伝えることは難しいと感じています。これを残りの留學生活の課題とし、自主学習に取り組んでいきたいです。</p> <p>留學生活も折り返しを迎えましたが、中だるみにならないように気を引き締めて残りの生活を楽しんで過ごしたいと思います。</p> |
|---|

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

| | | | | |
|--------------------|--|------|--------|------|
| 所 属 | 経営学部 | 学科 | 国際経営学科 | 3 年次 |
| 派遣先大学 (国) | ヴロツワフ経済・経営大学 (ポーランド) | | | |
| 所属プログラム・ 学部・研究科 | Faculty of Management, Information Systems and Finance | 履修言語 | 英語 | |
| 留学期間 | 2019 年 9 月～2020 年 2 月 | | | |
| 報告書提出日 | 2020 年 3 月 12 日 | | | |

1. 学修について

1.1. 学期区分

| 学期 | 授業期間 | 試験期間 | 履修登録するまでの過程 |
|-----------------|---------------------------------|----------------------|--|
| Winter semester | 10 月 1 日 ～1 月 31 日 (17 週) | 2 月 1 日 ～2 月 14 日 | 留学生向けに開講されている英語の授業と、現地学生向けに英語で開講されている授業の両方を履修できる。9 月末に時間割表が配られ、まずオンラインで仮の履修登録をする。後日、確定版をインターナショナルオフィスに提出する必要がある。 |

1.2. 履修科目・内容

| 学期 | 履修科目名 | 合計時間 | 履修内容・授業での取り組み |
|-----------------|-------------------|----------------------------------|--|
| | | (内訳) | |
| Winter Semester | Consumer Behavior | 24 時間 | <p>現地学部生向けに英語で開講されている授業。現地学生と留学生の割合はおおよそ 3 : 1 で、30 人ほどの学生が受講していた。座学中心のレクチャーと、グループプロジェクトを進めるチュートリアルが一時間半ずつ、講義は二週間に一度である。評価方法は期末テスト、グループプロジェクト (プレゼンテーション・レポート) であった。</p> <p>講義内容については顧客の種類、またどのような顧客にどのようなニーズがあるかについてで、経営に関する基礎知識があると理解が深まる。</p> |
| | | 3(時間/回) × 1(回/2 週) × 16(週) | |

| | | | |
|-----------------|----------------------------------|----------------------------------|--|
| Winter Semester | Economics of International Trade | 24 時間 | 外貨を使った商売をする際の、為替などの仕組みについての授業。現地学部生向けに開講されている授業で、12月から開始された。現地学生がほとんどである。授業は外貨や為替の仕組みについてのレクチャー（火曜日）と、レクチャーで習ったことを当てはめて実践的な計算をするチュートリアル（水曜日）の二部に分かれている。評価は、レクチャー、チュートリアル各々での期末試験で決まる。主に計算問題なので、計算機が必要である。外貨の仕組みに興味がある人におすすめです。 |
| | | 1.5(時間/回) × 2(回/週) × 8(週) | |
| Winter Semester | Place marketing | 24 時間 | 地域の経済発展を促す要因についての授業。留学生用の授業で、2 コマ続けての授業である。約 30 人ほどの学生が受講していた。学期の前半は主に座学で、ポーランドの Place Marketing や、参加学生がいる各国の Place Marketing について学んだり、発信したりした。後半は各国の学生によるプレゼンテーションで授業が進みこのプレゼンテーション (25 分以上) により評価が決まる。日本の地域発展について知識があると積極的に授業に参加できる。 |
| | | 3(時間/回) × 1(回/2 週) × 16(週) | |
| Winter Semester | Polish language | 24 時間 | ポーランド語の基礎的な会話についての授業。留学生向けの授業で、ポーランド語を一から学びたい学生 20 人ほどが受講していた。とても簡単な会話練習からゆっくりと進むので、授業についていくことができる。評価方法は出席・期末テストである。ポーランド語についての知識が全くない人、一からポーランド語を学びたい人向けです。 |
| | | 1.5(時間/回) × 1(回/週) × 16(週) | |
| Winter Semester | Strategic leadership | 24 時間 | 企業でリーダーシップを発揮するために必要な要素、リーダーシップのメカニズムについての授業。留学生向けの授業で 15 人ほどの学生が受講していた。授業の前半は、心理テストを用いて自分のリーダーシップ力について分析するほか、ストラテジックリーダーシップの定義について学び、後半は、あらかじめ与えられたケーススタディに基づいてグループでストラテジックリーダーシップについて話し合いを行った。記述式の試験と、グループでの口頭試験、またレポート (2 回) により評価が決まる。 |
| | | 1.5(時間/回) × 1(回/週) × 16(週) | |
| Winter Semester | Visual merchandising | 22.5 時間 | 品物を早く、沢山売る方法についての授業。特に視覚的にどのように工夫するべきかについての授業である。留学生用の授業で、約 15 人ほどの学生が受講していた。教授はゆっくりと話すため、授業の 8 割ほどは理解できるが、専門的な用語も多い。また、座学形式だが、発言する学生は |

| | | | |
|--|--|----------------------------------|---|
| | | 1.5(時間/回) × 1(回/週) × 15(週) | 加点される方式のため、積極的に発言する学生が多く毎回焦りを感じた。復習をしっかりと授業に積極的に参加することが求められる。評価は期末試験、三人以下のグループワーク（プレゼンテーション、レポート）で決まる。経営学についての基礎知識があると理解しやすい。 |
|--|--|----------------------------------|---|

1.3.学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

ほとんどの授業でレジュメやパワーポイントがあらかじめ配布されていたため、わからない専門的な単語は授業の前に調べたり、授業で完璧に理解できなかった内容は、後でインターネットで関連するサイトを調べたりして理解を深めるようにしていた。

1.4.語学力について

スピーキング：留学前は、簡単な質問や受け答えはできるものの、複雑なことをうまく伝えることができず、課題に感じていた。しかし、積極的に友人を作り毎日会話をするように心がけたり、英語のテレビドラマなどを観てわからない単語は調べたりなどしていくうちに、少し複雑なことでも相手に正確に伝わる確率が増えてきたように感じた。

リスニング：学期が始まったばかりのころは、授業で教授の言うことが完璧に聞き取れないなどの課題があった。この問題に関しては、特に専門用語の予習・復習を念入りにする努力をし、結果として学期末には授業のほとんどを完璧に理解できるようになった。

資格試験の勉強：授業の予習・復習、またスピーキング以外に TOEIC の勉強をした（特に単語・リスニング）。まだ帰国後、受験をしていないので点数の変化は記載できないが、この勉強が授業や日常での英会話にも役立ったと感じる。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

学習内容：授業の多くは日本では開講されていないような内容であったため、とても新鮮に感じ、最後まで楽しく通うことができた。わからなかった箇所をしっかりと復習したため、沢山の知識を得ることができ満足している。

グループワーク：グループワークが多いことがポーランドの授業の特徴の一つであったと感じる。他国の学生たちに比べ自身の英語力が劣っていたため、歯がゆい思いをすることが多々あったが、少しでも自分の意見を言うように心がけていた。間違いを恐れずに自分の意見を英語で発信する力がついたように感じる。また、私のグループへの貢献度はかなり低かったにも関わらず、グループのメンバーは常に親切に接してくれたことで、グループワークにおいての他者との接し方についてもとても勉強になった。

プレゼンテーション：複数の授業で苦手なプレゼンテーションがあり、中には自分ひとりで 25 分間行

うものもあった。逃げ出してしまうくらい苦痛だったが、しっかりと準備をして挑んだところ、高評価を得たため、達成感を感じた。また、複数回こなすうちに人前で英語を話すことに慣れてきたと感じた。さらに、他国の学生たちのプレゼンテーションの方法、態度は言語に関わらずとても勉強になるものであった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

授業態度：他国からの学生たちは、自分の意見や疑問点を躊躇なく発言しており、自分も同じようになりたいと思ったが、大きな変化を遂げることはできなかった。また、アジアの学生がクラスに一人であったため、日本人視点での意見を求められることもしばしばあったが、特に学期始めの頃は英語力の問題でうまく答えられなかったり、そもそも日本への知識不足であったりと、自国のことを発信する機会を逃してしまい悔しく思った。

2.3. 留学生活で得られたもの

最初の数週間は他のヨーロッパの学生に馴染めず、焦りと不安を抱いていた。しかし、諦めずに自分から話しかけたり、食事に誘ったり、また現地で開講されている日本語の授業に参加するなど、自分なりに工夫して、最終的にポーランド人をはじめ、たくさんの国籍の友人をつくり信頼関係を築くことに成功した。このことから、環境のせいにして諦めずに、自分から努力することの大切さを学んだ。また、以前参加していた BSAP プログラムとは大きく異なり、授業のことや寮のことなど、日本語の通じない環境の中で自分ひとりで考え、行動しなくてはいけないことが圧倒的に多かったため、より行動力が高まったと感じている。

2.4 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

日本人との関わり方：ルームメイトは半年間日本人であったため、部屋での会話は日本語のみの生活であったこと。また、ヴロツワフ経済大学は、神奈川大学のほかに日本の二つの大学から交換留学生が派遣されている。他の日本人と全く関わりを持たない環境をつくることは難しいが、日本人だけでずっと行動することのないように意識する必要があると感じた。

時間の使い方：授業に力を入れすぎて、友人と会わずに部屋でずっと勉強だけをしていた期間があった。学習にまじめに取り組めたことに後悔はないが、現地の友人と会ったり、どこかに出かけたり、現地でしかできないことと学習のバランスをよく考えて優先順位をつける必要がある。

人間関係の構築：日本に強い興味があるヨーロッパ人は、東南アジアなどと比べると稀な存在なので、友人をつくるためには自分からアクションを起こす必要がある。また、アジア人はマイノリティであり、ヨーロッパの人々に劣等感を感じることもあった。話しかけるのもためらうほどであったが、実際に話してみると、その不安は単に自分の先入観からきたものであったと気がつくことができた。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年2月24日

| | | | |
|-------|--------------|-----------|-------|
| 所 属 | 経営学部 | 国際経営学科・専攻 | 3 年次 |
| 派遣先大学 | ヴロツワフ経済・経営大学 | | 6 ヶ月間 |

I. 留学先での住居について

| | | |
|----|---------------------|---|
| 1 | 住居形態は 何でしたか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 () |
| 2 | 住居形態の詳細を教えてください。 | (二人部屋、ワンルーム) |
| 3 | 入居時手続き | (レセプションで鍵を受け取る) |
| 4 | 費用 (月額) | 50,000 (円) (食費 食費含む/月) |
| 5 | 支払方法 | 月ごとにクレジットカードで支払い |
| 6 | 住居に附属する設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 7 | 住居選択方法 | <input type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 () |
| 8 | 周囲環境 | (ترام駅まで徒歩5分) |
| 9 | アクセス | (大学まで徒歩5分~10分弱(棟による)) |
| 10 | 留学中の住居に関して アドバイス | (寮では、英語を話さないスタッフも多いので、ジェスチャーや、時には翻訳アプリなどが便利である。) |

II. 通信環境について

| | | |
|---|--------------------|--------------------|
| 1 | 日本キャリアの携帯電話 | 持参しなかった |
| 2 | 現地キャリアの携帯電話 | 現地でSIMカードを購入 |
| 3 | 現地携帯電話の取得手続きの方法 | (空港でSIMカードを購入) |
| 4 | 自宅のインターネット 接続環境 | 有線 (大学または寮へのLAN接続) |
| 5 | 大学内インターネット 接続環境 | 有線 (大学または寮へのLAN接続) |

III. 留学費用について

| 諸経費 (1ヶ月の平均) | | |
|--------------|-----|--------------|
| 1 | 宿舍費 | 550 (PLN) /月 |
| 2 | 食費 | 600 (PLN) /月 |
| 3 | 交通費 | 30 (PLN) /月 |
| 4 | 通信費 | 30 (PLN) /月 |
| 5 | 娯楽費 | 150 (PLN) /月 |

| | | |
|-------------------------------------|--|------------------------------------|
| 6 | 図書費 | 200 (PLN) /合計 |
| 7 | 学用品 (教科書など) | 50 (PLN) /合計 |
| 8 | 被服費 | 600 (PLN) /合計 |
| 9 | 医療費 | 0 /合計 |
| 10 | 雑費・その他 | 3000 (PLN) /合計 |
| 上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む) | | |
| 11 | 出願料・宿舍デポジット | 520 (PLN) /合計 |
| 12 | ビザ申請関連費 | 0 /合計 |
| 13 | 航空券代 (休暇時旅行費用は除く) | 97500 (円) /往復 |
| 14 | その他 | 0 /合計 |
| 15 | 留学全日程に要した総額 (概算) | 450,000 (円) /合計 |
| お金の持って行き方 | | |
| 16 | <input type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名: 三菱 UFJ 銀行) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 () | |
| 17 | お金に関するアドバイス | ATMは手数料が高額であるため、必要な額を一度に引き出した方が良い。 |

IV. 保険・医療について

| | | |
|---|---|-----------------------------------|
| 1 | 海外旅行 (留学) 保険の種類 | |
| 2 | 留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか? | はい |
| 3 | (2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行 (留学) 保険の適用を受けましたか? | 受けた |
| 4 | (3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか? | キャッシュレス その他 () |
| 5 | 日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか? 理由はなんですか? | マスク。現地で販売数が少なく、乾燥などの理由により必要だったため。 |

V. 持ち物について

| | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 日本から持っていったもの |
| | 衣類・インスタント食品・参考書・薬・文房具 |
| 2 | 現地で購入したもの |
| | 衣類・調理器具・生活雑貨 |
| 3 | (自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの |
| | 電卓 |

VI. 留学先で困ったこと

外国語 (特にポーランド語) でのコミュニケーション

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

ほとんどの生活用品は現地で安価で手に入るため、持ち物に関してはあまり心配はいりません。